

鹿沼市初の総合型地域スポーツクラブ 『わくわくひがしクラブ』が東部地区に誕生!



東中学校でエアロビクスをする「わくわくひがしクラブ」のみなさん

昨年11月、鹿沼市初の総合型地域スポーツクラブが東部地区に誕生しました。総合型地域スポーツクラブとは、子どもから高齢者まで、それぞれの住んでいる地域を中心として、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にスポーツに親しめ、住民が自主的に運営する組織です。

今後市では、地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整備すると共に、住民主体の地域に根ざした取り組みを積極的に応援していきます。

現在『わくわくひがしクラブ』は、エアロビクスと社交ダンスの活動を東中学校で行っています。

そこで、初代会長である岩本功二さんにクラブ設立の経緯を聞きました。



「わくわくひがしクラブ」会長
体協東支部長 岩本 功二さん

暮らしの中にスポーツを!

Q、クラブのどんな点が地域で生かせると考えましたか。

クラブの特徴は、「地域の誰もが参加できる」、「色々な種目を楽しめる」、「会員の考えが反映できる」、などありますが、中でも会員の考えが反映できる点をうまく生かせれば地域の実情に即したクラブづくりができるのではと考えました。

Q、どのようにしてクラブづくりを進めてきたのですか。

まず、平成14年12月に、クラブづくりを検討するための組織をつくりました。この組織のメンバーは、これまで地区運動会や地区球技大会を開催してきた鹿沼市体育協会東支部役員のみなさんなどにお願いました。

会議で、クラブづくりについて意見を求めたところ、さまざま